

2026年6月8日

各 位

四国新幹線整備促進期成会

2026年度「四国新幹線整備促進期成会」総会の
書面決議結果について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当期成会の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2026年度「四国新幹線整備促進期成会」総会を下記のとおり開催（書面開催）いたしましたので、その結果を次のとおりお知らせいたします。

敬具

記

○ 審議事項

- (1) 第1号議案 2025年度 事業報告ならびに収支報告(案)
 - ・原案のとおり承認されました。
- (2) 第2号議案 2026年度 事業計画ならびに収支予算(案)
 - ・原案のとおり承認されました。

<添付資料>

- ・2025年度事業報告ならびに収支報告
- ・2026年度事業計画ならびに収支予算

以 上

<お問い合わせ先>

四国新幹線整備促進期成会

代表事務局 四国経済連合会 前川、安藤

TEL：087-851-6032 FAX：087-821-9384

E-mail：maegawa@yonkeiren.jp

2025年度 事業報告・収支報告



2026年5月
四国新幹線整備促進期成会



さあ、次は四国の番だ。

1. 事業概要

2. 事業内容

①東京大会・要望活動

②署名活動

③広報啓発活動

④講演・勉強会

⑤連携事業

3. 収支報告

1 事業概要

- ▶ 第7回東京大会や各地での要望活動を実施。
(P.3～P.5)
- ▶ 「次は四国の番だ」という気持ちを強く訴えかけるため、期成会として初めて署名活動を実施。
(P.6～P.7)
- ▶ 四国の新幹線応援キャラクター「つなぐん」着ぐるみを活用した四国の新幹線PR活動を実施。(P.8)
- ▶ 広く一般の方々に四国の新幹線計画を訴求することができるSNSを活用した施策を実施。
(P.9)
- ▶ SNSを活用した広報啓発活動を実施。オリジナルノベルティの作成 (P.10)
- ▶ 地元機運の醸成のため、企業や団体、学校等要望があった場所へ出向き、出張講演等を実施。(P.11)
- ▶ 四国の新幹線の必要性・効果等に対する理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資する趣旨の事業に対して必要な申請を行った団体に助成金を交付。
(P.12～P.13)

2 事業①東京大会

東京大会の実施

- ▶ 2025年8月21日 第7回東京大会を開催。(約700名参加)
署名活動の最終とりまとめ45.2万筆を発表。
整備計画格上げに向けた法定調査の予算措置などを要望することを決議。
- ▶ 東京大会の様子についてまとめた動画を作成し、YouTubeサイトにてPRを実施。

出席者 (敬称略)

[四国新幹線整備促進期成会]

- 会長 長井 啓介 (四国経済連合会会長)
- 副会長 四国4県知事、4県商工会議所連合会会長・会頭
- 監事 四国公共交通議員連盟会長 明比昭治氏 (ほか)

- 四国選出の与野党の国会議員
- 自民党 整備新幹線等鉄道調査会 会長 稲田 朋美 衆議院議員
- 国交省関係者
- 鉄道・運輸機構役員、JAPIC役員
- 日本経団連 久保田政一 副会長・事務総長
- 岡山市関係者
- 四国経済連合会会員企業
- 4県関係者

- 新幹線基本計画路線の皆様
 - ・奥羽・羽越新幹線建設促進同盟会
 - ・山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議
 - ・中国横断(伯備新幹線)整備推進会議
 - ・東九州新幹線鉄道建設促進期成会



東京大会の様子 (2025年8月21日)

2 事業①要望活動

政府・自民党への要望活動

- ▶ 2025年8月21日東京大会閉会后、期成会を代表し、長井期成会会長、副会長が四国選出国會議員とともに、45.2万筆の署名と併せて政府・自民党への要望活動を実施

要望先

国土交通省、財務省、自由民主党

要望内容

- ・ 令和8年度予算における、四国の新幹線に係る法定調査を実施するための予算措置
- ・ 新たな財源の活用も含めた、新幹線整備予算の大幅な拡充
- ・ 四国の新幹線整備に向けた取組みを進めていく旨の「四国圏広域地方計画」本文中への記載
- ・ 四国の新幹線の整備を考慮した、新大阪駅の結節機能強化などを図るための調査の実施

2025年度要望活動の様子



【自民党整備新幹線等
鉄道調査会】
稲田 朋美 会長



【国土交通省】
国定 勇人
国土交通大臣政務官
(当時)



【財務省】
新川 浩嗣
事務次官



【自民党本部】
森山 裕 幹事長
(当時)

【四国】

- ・四国知事会（6/4）
- ・明日の地域づくりを考える四国会議（10/1）
- ・四国公共交通議員連盟（11/19）
- ・四国商工会議所連合会（7/22）
- ・四国四県町村会、四国四県町村議会議長会（10/18, 11/25, 12/25）

【徳島県】

- ・徳島県（5/15, 11/6）
- ・徳島県町村議会議長会（11/12, 11/19）
- ・徳島県町村会（11/19）

【香川県】

- ・香川県（6/12, 10/24, 2026/1/21）
- ・香川県商工会議所連合会、香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商店街振興組合連合会（12/2）
- ・高松市（5/23）
- ・香川県市町長四国新幹線整備促進期成会（8/21）

【愛媛県】

- ・愛媛県（5/30）
- ・愛媛県商工会議所連合会（12/24）
- ・愛媛県新幹線導入促進期成同盟会（7/9, 10/9, 10/29）

【高知県】

- ・高知県（4/22, 5/21, 5/23）
- ・高知県町村会、高知県町村議会議長会（10/18, 12/25）
- ・高知県商工会議所連合会（10/7）

2 事業②署名活動

署名活動の実施

- ▶ 2024年6月4日、高知県本山町にて、「四国の4県知事と経済団体代表者による懇談会」の後、「四国の新幹線早期実現に向けた署名活動に関する記者発表」を実施。期成会として署名活動を実施するのは初めて。
- ▶ 2024年11月15日、JR高松駅にて、四国の新幹線が基本計画路線に位置付けられた日（1973年11月15日）の同日に、期成会の長井会長（四経連会長）と池田副会長（香川県知事）が、署名の協力を呼びかけ。
- ▶ 2025年6月4日、四国の新幹線早期実現に向けた署名活動の中間発表として、約39万筆の署名（6/4集約時点）が集まったことを発表。2025年8月21日、期成会の東京大会で最終とりまとめ約45.2万筆の署名を発表、国土交通省等への要望活動でお届け。



四国の新幹線早期実現に向けた
署名活動の開始を宣言
(2024年6月4日)



署名協力の呼びかけを実施
(2024年11月15日)



四国の新幹線早期実現に向けた
署名活動の中間発表を実施
(2025年6月4日)

参考 関係団体における主なイベント（署名PR活動）

【徳島県】

・走れ！四国の新幹線（2025/7/21）



【香川県】

・春の電車まつり（2025/4/5）



【愛媛県】

・JR松山駅西口駅前広場に
ミニSLがやってくる！（2025/5/11）



【高知県】

・走れ！四国の新幹線（2025/7/26）



着ぐるみの活用

- ▶ 四国の新幹線応援キャラクター「つなぐん」をイベント等で活用いただくことで四国の新幹線を身近に感じていただく機会を設けた。

	日程	イベント名	着ぐるみ活用者
1	2025年4月5日	第7回ことடன்春の電車まつり	四国新幹線整備促進期成会
2	2025年5月3日	電車の日イベント	高知県
3	2025年5月11日	JR松山駅西口駅前広場にミニSLがやってくる！	愛媛県、JR四国
4	2025年7月21日	走れ！四国の新幹線	徳島県
5	2025年7月26日	走れ！四国の新幹線	高知県
6	2025年8月21日	四国新幹線整備促進期成会東京大会（東京都）	四国新幹線整備促進期成会
7	2025年9月7日	四国まるごと 四国まるごと公共交通利用促進 公共交通利用促進キャンペーン	香川県
8	2025年9月14日	四国まるごと 四国まるごと公共交通利用促進 公共交通利用促進キャンペーン	愛媛県
9	2025年10月4日、5日	姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展	高松市
10	2025年11月8日、9日	新居浜マルシェ	新居浜商工会議所
11	2025年11月29日、30日	万博鉄道まつり2025	四国新幹線整備促進期成会
12	2025年12月14日	ワクリエ新居浜わくわくマルシェ	新居浜商工会議所
13	2026年2月28	走れ！四国の新幹線	香川県

2 事業③広報啓発活動

四国の新幹線を訴求する動画の制作【四県連携事業】

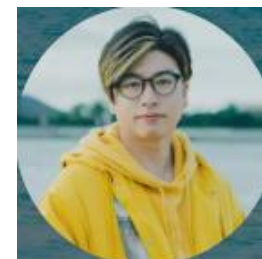
- ▶ 四国の新幹線に関する機運醸成動画を制作。
- ▶ 新幹線の必要性を誰にでもわかりやすく解説し、四国が唯一の空白地域であることの課題を明確にした。
- ▶ 動画概要
 - ・高校生への授業形式
 - ・各県役の生徒が質問し、わかりやすく回答
- ▶ 出演者
 - ・京都大学大学院 藤井聡教授
 - ・瀬戸内サニー
 - ・大手前高校〔高松市〕 学生
- ▶ 公開日 決まり次第お知らせします



動画サムネイル（イメージ）



京都大学大学院
藤井教授



瀬戸内サニー(株)
代表取締役 大崎氏
(瀬戸内サニー氏)

2 事業③広報啓発活動

SNSの活用

- ▶ 主にXを活用し、当期成会や関係団体が実施する活動の紹介や他地域の新幹線整備の状況などをタイムリーで紹介。
 - Xフォロワー数は現在5,234名。(2026年3月末現在)
 - YouTubeチャンネル登録者数は現在539名。(2026年3月末現在)



X (旧Twitter) アカウント



X (旧Twitter)



YouTubeチャンネル



YouTube

四国の新幹線 オリジナルノベルティの作成【四県連携事業】

- ▶ ノベルティグッズ (マスキングテープ) を作成し、四国内外で開催されるイベントにてパンフレット等とともに配布。



デザイン (イメージ)

講演・意見交換・勉強会実績

▶ 新幹線導入に向けた地元機運の醸成のため、講演会・勉強会に講師として出席。

	日程	イベント名	参加者数(約)	開催地
1	2025年4月21日	香川県中小企業家同友会での講演	200名	香川県
2	2025年4月23日	高松商工会議所 & 香川経済同友会シンポジウム	100名	香川県
3	2025年4月25日	愛媛県新幹線導入促進期成同盟会での講演	50名	愛媛県
4	2025年5月26日	香川大学での講演	100名	香川県
5	2025年6月24日	四国の新幹線の現状と展望について	10名	高知県
6	2025年10月9日	四国の新幹線整備促進セミナーでの講演	50名	徳島県
7	2025年10月15日	愛媛大学での講演	100名	愛媛県
8	2025年12月6日	四国ブロック商工会議所青年部連合会での講演	75名	愛媛県
9	2025年12月12日	愛媛県総合科学博物館での講演	30名	愛媛県
10	2025年12月15日	四国の新幹線勉強会	107名	香川県
11	2025年12月22日	香川県中小企業家同友会での講演	20名	香川県
12	2026年2月6日	高知の新幹線を考えるシンポジウム	80名	高知県
13	2026年2月19日	徳島経済同友会 四国の新幹線早期実現に向けた勉強会	40名	徳島県



講演会の様子

連携事業の実施①

- ▶ 四国の新幹線の必要性・効果等に対する理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資する趣旨の事業に対して必要な申請を行った団体に助成金を交付。

団体名	土佐経済同友会
内容	第6回 四国に新幹線を夏まつりの実施
実施期間	2025年8月17日（日）
事業成果	四国新幹線の導入に対する機運を高めるとともに、若年層に新幹線がある高知の将来を考えるきっかけを作ることを目的とし、夏まつりイベントを開催。イベントを通して、四国新幹線導入に向けての活動への理解と共感を浸透させることができた。



「四国に新幹線を夏まつり」の実施の様子

連携事業の実施②

- ▶ 四国の新幹線の必要性・効果等に対する理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資する趣旨の事業に対して必要な申請を行った団体に助成金を交付。

団体名	愛媛経済同友会
内容	四国新幹線俳句コンテスト2025～「さよなら」を「またね」に変える新幹線～の実施
実施期間	2025年9月10日～12月
事業成果	主に愛媛県内の四国新幹線誘致の機運を高めるため、俳句コンテストを昨年度に引き続き実施し、全国から5,024句の投句を集めた。また、表彰式（ステージイベント）を実施し、イベント全体で約350名に参加いただいた。コンテストを通じ各種メディアでPRを実施することで新幹線誘致の機運の醸成につながった。俳句コンテストは3回目となり、今までに1万6千句を超える応募数となった。3回連続で応募して頂いた方もおられ、四国新幹線俳句コンテストの認知度は少しずつ上がってきている。



俳句コンテストチラシ

俳句コンテスト授賞式の様子

収入の部

(単位：円)

科目	予算 (A)	決算 (B)	増減 (B-A)	概要欄
繰入金	3,418,739	3,418,739	0	-
年度負担金	4,580,000	4,580,000	0	4 県各900,000／商工会議所連合会各100,000 四経連100,000／商工会連合会各30,000 中小企業団体中央会各30,000 経済同友会各30,000／観光協会各30,000
四県連携費	2,450,000	2,450,000	0	徳島県612,500／香川県612,500 愛媛県612,500／高知県612,500
雑収入	0	38,422	38,422	預金利息、寄稿料
合計	10,448,739	10,487,161	38,422	-

支出の部

(単位：円)

科目	予算 (A)	決算 (B)	増減 (B-A)	概要欄	
事業費 内 訳	東京大会・要望活動	3,500,000	3,252,730	▲ 247,270	
	署名活動	1,000,000	57,341	▲ 942,659	チラシ増刷（署名活動：2025.8月終了）
	広報啓発活動	3,450,000	3,238,184	▲ 211,816	機運醸成動画制作、ノベルティ作成、 パンフレット増刷、イベント出展 等
	講演・勉強会	100,000	0	▲ 100,000	講師として招聘されたため会場費等不要
	連携事業（助成金）	600,000	300,000	▲ 300,000	愛媛経済同友会150,000 土佐経済同友会150,000
（事業費計）	8,650,000	6,848,255	▲ 1,801,745		
事務費・通信費	200,000	261,852	61,852	振込手数料、郵便物発送料等	
次年度繰越	1,598,739	3,377,054	1,778,315		
合計	10,448,739	10,487,161	38,422		

2026年度 事業計画・収支予算



2026年5月

四国新幹線整備促進期成会



さあ、次は四国の番だ。

1. 2026年度事業計画の概要

2. 事業内容

- ① 東京大会・要望活動
- ② 広報啓発活動
- ③ 講演会、勉強会
- ④ 新たな取組み
- ⑤ 連携事業

3. 収支計画

1 2026年度事業計画の概要

- ▶ 四国の新幹線の実現に向けては、地元の機運醸成や政府・与党への要望活動を精力的に展開してきた。昨年8月に開催した東京大会では、過去最大となる700名を超える参加者を集めることができたほか、「四国の新幹線の早期実現に向けた署名活動」においては、45万2,038筆もの署名を政府・与党に届けるなど、誘致活動はこれまでにない盛り上がりを見せている。
- ▶ こうした取組みの効果もあり、今年度、国は基本計画路線を対象とした新たな調査（ケーススタディ）を実施する予定である。
- ▶ 一方、全国各地で新幹線整備が進む中、国の予算編成の方向性を示す「骨太の方針」において、基本計画路線に関する新たな考え方が示されたものの、四国の新幹線はいまだ半世紀以上にわたり、基本計画の段階にとどまっている。
- ▶ こうした状況を踏まえ、四国の新幹線の実現を応援して下さる多くの皆さまの「次は四国の番だ」という強い思いを改めて国に訴えるとともに、整備計画への格上げと早期実現に向け、「一步でも前進させ、形にしていきたい」という決意のもと、今夏も決起大会の開催および政府・中央関係機関への要望活動を実施し、民意を明確に国へ示していく。
- ▶ あわせて、四国内外におけるさらなる機運醸成を図るため、SNSを活用した若年層への情報発信を強化するとともに、北陸や九州など新幹線沿線地域におけるまちづくりの成功事例の視察や調査・分析を行う。さらに、岡山経由で4県都を結ぶルート上において、勉強会を開催するなど、志を同じくする関係者との連携を一層深めながら、粘り強く四国の新幹線の整備計画への格上げおよび早期建設を求めていく。

東京大会・要望活動の実施

- ▶ 「第8回 四国新幹線整備促進期成会 東京大会」を開催し、政府中央での理解促進と機運醸成を図る。
- ▶ 四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた法定調査の実施や予算の拡充など、新幹線整備の仕組みの抜本的改革について、国など関係機関に対する要望活動を精力的に展開する。
- ▶ 基本計画路線の整備計画格上げに向けて取り組む全国各地の団体との協働による、全国総決起大会及び要望活動等を実施する。

広報啓発活動の実施

- ▶ 四国の新幹線応援キャラクター「つなぐん」を当期成会でも引き続き活用するとともに、イベント等で他団体等にも活用いただくことで四国の新幹線を身近に感じていただく機会を設ける。
- ▶ 四国の新幹線の接続先となる「岡山県」や、四国の新幹線を新大阪駅直通運転にするため、結節機能強化及び駅受入容量の拡大を要望していく「大阪府」の機運を醸成することを目的として、以下2つの施策を展開する。【四県連携費活用予定】
 - ・ JR瀬戸大橋線や宇野線の駅や車内での広告掲示
 - ・ 岡山県や大阪府等でのイベント等への出展
- ▶ 広く一般の方々に訴求することができるSNSを活用し、引き続き公式XやYouTubeを運用する。

講演・意見交換・勉強会の実施

- ▶ 企業や団体、学校等要望があった場所へ出向き、出張講演等を行う。

新たな取組みの実施

- ▶ 四国内外における機運のさらなる醸成に向け、以下事業を展開する。
 - ① 「骨太の方針2026」策定に合わせた要望活動の実施
 - ② 九州や北陸など新幹線沿線のまちづくりの成功事例の視察及び調査分析
 - ③ 岡山経由・4県都を結ぶルート上での講演会や勉強会の開催

2 事業⑤連携事業

連携事業の実施

- ▶ 四国の新幹線の必要性・効果等に対する理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資する趣旨の事業に対して必要な申請を行った団体に助成金を交付する。

【助成金の概要】

対象者	四国内で活動を行う2名以上で構成する団体、企業、地域のグループ、特定非営利活動法人等。 ただし、以下の団体を除く。 (1) 徳島県四国新幹線導入促進期成会 (2) 香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会 (3) 愛媛県新幹線導入促進期成同盟会 (4) 高知県鉄道高速化促進期成同盟会
対象事業	四国の新幹線の必要性・効果等に対する理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資するもの 例) 有識者による講演会、シンポジウム等の開催 / 四国の新幹線をPRするイベント等の実施 四国の新幹線をPRする広報啓発活動の実施 その他、四国の新幹線の理解促進や、その早期実現に向けた機運醸成に資すると期成会会長が認めるもの
対象経費	広告宣伝費 / 人件費 (助成対象事業のための臨時的な雇用に係るものに限る。) 謝金 (講師等に対する謝礼金) 旅費 / 消耗品費 / 保険料 / 役務費 (通信運搬費、広告料及び手数料など) / 委託料 (作成委託料及び調査委託料など) / 使用料及び賃借料 (施設使用料及び機材借上料など) / 備品購入費 (事業実施に必要不可欠と認めるもの) 上記のほか、特に必要と認められる経費
助成額	助成金の額は、助成対象経費に3分の1を乗じて得た額で上限を 8万円 とする。ただし、予算に達し次第終了とする。

収入の部

(単位：千円)

科目	2025年度予算 (A)	2026年度予算 (B)	増減 (B - A)	概要欄
前年度繰越	3,418	3,377	▲ 41	-
年度負担金 (会費)	4,580	4,580	0	4県各900/商工会議所連合会各100/四経連100 /商工会連合会各30/中小企業団体中央会各30/ 経済同友会各30/観光協会各30
四県連携費	2,450	2,842	392	徳島県710.5/香川県710.5 愛媛県710.5/高知県710.5
合計	10,448	10,799	351	-

支出の部

(単位：千円)

科目	2025年度予算 (A)	2026年度予算 (B)	増減 (B - A)	概要欄	
事業費	東京大会・要望活動	3,500	2,600	▲ 900	経費削減を実施 (発言文字起こし、ビデオ撮影・編集、胸章、スタッフ控室等)
	署名活動	1,000	0	▲ 1,000	2025.8月終了
	講演・意見交換・勉強会	100	100	0	
	広報啓発活動	3,450	3,842	392	
	連携事業 (助成金)	600	320	▲ 280	2026年度から上限額を150千円から80千円に変更
	新規事業	0	700	700	2026新規 (要望活動、視察会等)
(事業費計)	8,650	7,562	▲ 1,088		
事務費・通信費	200	200	0		
次年度繰越	1,598	3,037	1,439		
合計	10,448	10,799	351		